

区民と区長のタウンミーティング  
(2025年12月22日・23日開催)

テーマ：令和8年度予算で検討中の主な取り組み（案）

開催月日	区民の意見（趣旨）
12月22日	区職員だけでなく、区民が年齢を問わずデジタルスキルを学べる場を設けてほしい。
12月22日	高齢者の見守り体制を強化するため、近隣住民同士が助け合える仕組みや、急な音信不通時に異変に気づけるようなデジタル技術の活用を進めてほしい。
12月22日	区民活動センターや健幸プラザでは、車いすを使用している重度心身障害児（者）がおむつ替えできない状況なのでユニバーサルシート付トイレを整備してほしい。
12月22日	（仮称）国連を支える世界こども未来会議 in NAKANOについて、認知度が低いため、広報を強化してほしい。 多様な意見を発表する場は教育上ますます重要になると思う。
12月22日	専門学校や大学進学を見据えた高校生への支援においては、学力面の支援のみならず、進路・職業の選択にかかる支援等、自分のやりたいことを見つけるための支援を充実させてほしい。
12月22日	英語で「聞く・考える・答える」など実践的な学びを通じて、使える英語力を育ててほしい。
12月22日	可能な限り英語を母語とするALTを配置し、子どもたちが正確な英語に触れられる環境を整備してほしい。
12月22日	SNS相談の対象を小学5～6年生に広げる理由や必要性について、丁寧な説明と理解促進を図ってほしい。
12月22日	養子や里子を迎えた場合、日本ではいじめの対象になることが懸念される。 小学校低学年向けのいじめ防止動画では十分ではない。国内初のいじめ自殺事件（旧：中野富士見中学校）を出した中野区としては、その経験を生かし、多様ないじめ対策を講じてほしい。

12月22日	学力に差がある中で、すべての児童生徒に同一の教材費がかかることに対して不安に感じている。学校現場の実情を最も把握しているのは学校だと思われるが、教材の選定や費用に関して、学校にどの程度の裁量があるのを知りたい。
12月22日	高額なタワーマンションの再開発が進めば、外国人富裕層が区内に居住するものと予想される。これに伴い、外国人の子どもたちの人口が増加する可能性があるため、こうした変化に対応するための対策を検討してほしい。
12月22日	次々と学校が合併され、学校数が減ることで通学の距離がかなり長くなっている。通学の距離等を適切に調整して学区設定を行ってほしい。
12月22日	放課後の子どもの居場所づくりとその充実は、行政が解決すべき課題である。プレーパーク事業の充実がうたわれる一方で、平和の森公園の樹木の伐採や、児童館の存続が危ぶまれる状況があり、以前に比べ子どもたちにとっての居場所の環境が悪化している。
12月22日	学区の広域化により通学時間が長くなる中、踏切を渡る子どもたちのために、環境を整え、責任ある大人の見守り体制を確保してほしい。
12月22日	朝の子どもの居場所は、学校によっては対応にばらつきがある。居場所が確保されていないことで、校門の前で長時間待たされる子どもも見受けられる。居場所が確保できない場合、学校は保護者に説明すべき。PTAへの働きかけにもつながるのではないか。
12月22日	働く親にとっては、子どもの安全確保のため、下校後や習い事への送り迎え等で子どもの居場所がぜひとも必要である。朝以外の時間帯でも、居場所をつくってほしい。
12月22日	現行のベビーシッター利用支援（一時預かり利用支援）では、きょうだいがいる場合でも利用時間が子どもごとに144時間ずつに分けられており、合計288時間として利用することができないため、利用時間の拡充を検討してほしい。また、障害児やひとり親世帯への支援に限らず、急病時などにも利用できるようにしてほしい。
12月22日	民間の子育て支援サービス「育児119」は柔軟性のあるサービスを行っている。こうした民間のサービスと区は連携してほしい。

12月22日	0歳からシニアまでが共に過ごせるインクルーシブな施設をさらに増やしてほしい。
12月22日	産休、育休期間の保育時間の短縮を任意にしてほしい。
12月22日	乳児等通園支援事業を利用できる施設が少なく、募集人数も限られているため、利用したくてもできない状況がある。民間の保育施設などでもこの事業を展開してもらえると、より多くの家庭が利用しやすくなるのではないか。また、新しい事業のため認知度がまだ低く、特に子育てに忙しく外部とのつながりを持ちにくい家庭には情報が届きにくい。そうした家庭にも届くよう、情報発信をもっと強化してほしい。
12月22日	児童館によっては設備が十分でなく、子どもがあまり行きたがらないこともある。もっと子どもが行きたいと思えるような、魅力のある児童館を増やしてほしい。
12月22日	児童館でのイベントが少ないので、すこやか福祉センターでの子ども向けのイベントを増やしてほしい。
12月22日	産後ケア事業の利用回数を増加してほしい。 現状、子どもの体調不良などによって前日にキャンセルした場合でも、1回利用したものと見なされ、利用回数が減ってしまう。 子どもが増えるにつれ、体調不良のリスクも高くなるため、特に2人目以降の利用者に対しては、キャンセル時の対応を柔軟にしてほしい。
12月22日	産後ドゥーラ訪問ケアの利用ルールを緩和してほしい。
12月22日	トータルケア事業とされているものの、産前に関しては特定の条件がないと利用できない。第2子の妊娠時に上の子どもの世話が大変だった。複数児家庭の利用上限も増やしてほしい。
12月22日	1歳児以降の育児支援を拡充してほしい。2人目、3人目の育児に取り組む際の基盤づくりにつながると考えている。

12月22日	幼稚園や保育園に入るまでの時期、参加できるコミュニティが足りない。 気軽に参加できるよう、コミュニティづくりや広報に力を入れてほしい。特に、デジタルを活用した参加の仕組みがあるといいのではないか。
12月22日	1人目の赤ちゃん、2人目以降の赤ちゃんを育てている親と赤ちゃんと一緒に参加するプログラム（BP1、BP2）の回数を増やしてほしい。
12月22日	レスパイトの利用場所を自宅に限らず多様な場所で利用できるようにしてほしい。18歳以上の方も幅広く利用できるよう支援を充実させてほしい。
12月22日	スポーツ推薦で高校に進学する生徒も、経済的支援が受けられるよう給付型奨学金の対象に含めてほしい。
12月22日	全国大会で活躍した中野区出身の選手に報奨金を支給してほしい。また、特に母子・父子家庭の子どもたちへの経済的支援を充実させてほしい。
12月22日	北部すこやか福祉センターでの子どもの検診時、裸で廊下で待機するのは辛いので、改善してもらいたい。
12月22日	在宅医療を支えるには、地域全体での助け合いが不可欠なので、地域包括支援センターとの連携を強化してほしい。
12月22日	がん患者に限らず、心不全・腎不全・脳梗塞・心筋梗塞などの患者にも、アピアランスケアにかかる費用の支援を行ってほしい。
12月22日	高齢者会館の設備には格差があり、階段の昇降が必要な施設は利用が難しい人もいる。人への支援だけでなく、施設の環境改善も進めてほしい。

12月22日	ビジネスケアラーを増やさないために、夜間も高齢者を安心して預けられる体制を整えてほしい。
12月22日	成年後見人・補佐人・補助人を必要とする人は増加しており、質の高い人材を確保するためにも、職務に見合った適正な報酬を支給してほしい。
12月22日	短期入所について、医療的ケアが必要な方や人工呼吸器を使用している方も利用できるようにしてほしい。一番支援を必要とする人が安心して利用できる体制を整えてほしい。
12月22日	委託先の医療的ケアや重症心身障害児（者）への知識や経験に不安があるため、実績のある事業者をアドバイザーとして加えるなど、利用者の視点に立ったビジョンを持って設計段階から取り組み、渋谷区のように質の高い施設を整備してほしい。
12月22日	一時保護について、短期入所の空きがあるときのみ利用可能では、必要なときに利用できない恐れがある。異なる目的のサービスとして、別の場所で提供できる体制を整えてほしい。
12月22日	以前、類似したサービスを利用した際、外国人スタッフが勤務していたが、日本語のコミュニケーションを円滑に行えず、適切な支援を受けることができなかった。 外国人を雇用する場合には、日本語も併せて学ぶ機会を設けてほしい。
12月22日	エアコン購入費助成事業の対象を生活保護世帯に限らず、申請に至らないが困っている人にも支援の手が届くよう、助成対象を拡大してほしい。
12月22日	もの忘れ検診の受診率や効果などを公表してほしい。
12月22日	起立性調整障害の認知度が低いいため、区として啓発に取り組んでほしい。特に、通学中の子どもにとって、周囲の病気への理解が不足していることで、いじめや不登校につながるおそれがある。 まずは、子どもと日々接する教員が病気への理解を深めることが必要ではないか。

12月23日	男女共同参画センター普及啓発事業は長年続けてきた取り組みであるため、これ以上税金を使う必要があるのか疑問に感じている。無駄がないか見直してほしい。
12月23日	日本語を学ぶだけでなく、外国の言葉を学びたい人同士が教え合えるような交流の場をつくってほしい。
12月23日	中野サンプラザパフォーマンスフィールドの利用者に音響設備機器の貸し出しを行うなど、利用しやすい環境を整備してほしい。 また、事前審査の基準を明確にした上で、誰でも利用しやすい仕組みにしてほしい。
12月23日	小中高生アニメ体験事業の実施にあたっては、子どもに限らず大人や外国人観光客に向けても実施を検討してほしい。
12月23日	産業振興センターで行っている支援の内容や、利用するメリットを周知してほしい。 また、支援の内容にスタートアップ支援を含めてほしい。
12月23日	デジタル地域通貨事業は、スマートフォンを所持していないと利用できない仕組みのため、プレミアムキャンペーンなどの施策において、すべての区民が平等に利益を受けられないのは問題ではないか。
12月23日	ナカペイで支払った際にポイント還元が受けられるなど、利用によるメリットを設けてほしい。また、まちを歩くことでポイントがもらえるようなイベントの実施も検討してほしい。
12月23日	ナカペイがどれだけ使用されているのか、データを公表してほしい。 一部の利用客に偏っているのではないか。
12月23日	支払い金額の自動入力等を導入し支払い処理のスピードを改善してほしい。また、購入できない商品についての案内をもっとわかりやすくしてほしい。

12月23日	区境に住んでいる住民にとっては利用できるお店が少なくナカペイに魅力を感じない。店舗利用に留まらず、健康診断のオプションにコミュニティポイントを利用できるようにするなど、利用の幅を拡大してほしい。
12月23日	中野サンプラザの工事を中止し、見直ししてほしい。
12月23日	中野サンプラザの老朽化を前提としているが、これは建物自体を調査したことによる見解ではない。中野の文化、歴史の象徴であるサンプラザを継承するまちづくりを進めてほしい。ホール部分を改修・暫定利用を行い、収益を得るべきである。
12月23日	中野サンプラザを貸し出す際は、料金の有無に関わらず、電気や水道、トイレなど最低限の設備を整えた上で提供してほしい。
12月23日	中野サンプラザの1, 2階を改修の上、再利用してほしい。 また、中野駅から近い立地を活かし、喫茶店の誘致など、にぎわいを創出してほしい。
12月23日	サンプラザ地区の再整備にあたっては、ホテルを導入することで収入を得てはどうか。 中野区にはホテルが少なく、インバウンドが多いことから多くの収入が見込まれる。
12月23日	中野駅新北口駅前エリアの再整備の方針を決定するにあたっては、災害対策やインバウンド対応等を含む再開発の目的を明確に示してほしい。
12月23日	中野駅新北口駅前広場の整備にあたっては、工事により通行できない道が生じることから、滞留可能なベンチの設置や、新たな導線となる道を案内する看板の設置を行ってほしい。 また、ベンチの設置に伴い、ごみのポイ捨てなどの問題がつかがるおそれがあるため、そうした課題への対策もあわせて講じた上で設置してほしい。
12月23日	中野駅新北口駅前広場の整備にあたっては、デッキの設置は控えてほしい。下が日陰となることで利用しづらくなり、土地の有効活用が妨げられるおそれがある。

12月23日	中野サンプラザ広場の時計を再び動かしてほしい。また、防災の観点からも、夕方にはサンプラザ建物1階の照明を点灯してほしい。
12月23日	タワーマンションが次々と建てられることで、外国人人口の増加が見込まれる。それに伴い、移住者の受け入れ体制の整備が必要となり、その観点から中野サンプラザの跡地に超高層ビルを建設する計画に懸念がある。
12月23日	今年2月に中野区長宛に出された日本建築家協会の「要望書」の内容を受け止めてほしい。サンプラザは200年ほもつ建物だとする専門家の意見を施策や計画に取り入れるべきである。
12月23日	中野駅周辺まちづくりに関する説明会はオープンハウス形式ではなく、意見をしっかり伝えられる場にしてほしい。
12月23日	災害時に避難所が足りるのか不安に感じている。区内の人口密度が高いことから、避難者の偏りや避難所のたらいまわしが想定されるため、対策を講じてほしい。
12月23日	転入者に対して区が積極的に防災に関する情報を発信してほしい。
12月23日	避難所に向かうにあたっては、要配慮者（高齢者・幼児・外国人）のみならず、外国人に対する事前のルート確認が必要である。また、ペット同伴者に対する訓練についても取り組んでほしい。
12月23日	ナカペイを使用したコミュニティポイントの付与では、受け取れる人が限られてしまうため、他の方法を検討してほしい。
12月23日	コミュニティポイントの付与によって、集合住宅での防災訓練の参加率がどれくらい増加したのか、公表してほしい。

12月23日	防災まちづくりを進めていくにあたって、建築コストが年々上昇している現状を踏まえ、現在の助成金の水準が実態に見合っているのか疑問に感じている。物価の変動に応じて、助成内容の見直しを検討してほしい
12月23日	特定の地域に限定せず、他の地域でも防災まちづくりの支援を検討してほしい。
12月23日	バリアフリー化実現に向けた調査で終わらず、早急に具体的な整備に着工してほしい。
12月23日	西武新宿線の上部空間は公園や駐車場、防災拠点として活用してほしい。
12月23日	中井～野方駅間の駅周辺は細い道路も多く危険なため、拡幅を行ってほしい。
12月23日	連続立体交差事業に伴う鉄道上部空間活用にあたっては、住民をまじえた先事例の現地視察、住民との職員との懇談といった実体験を伴う学びが必要である。
12月23日	中野区を防災の観点から安全な場所・空間にしてほしい。
12月23日	歩きたくなるまちづくりにあたっては区民の声を聞き、取り組んでほしい。
12月23日	新中野駅から中野駅にあたり、ポイ捨てが多く、ゴミ箱の設置を検討してほしい。

12月23日	歩きたくなるまちづくりには、歩きたばこのないまちづくりと併せて進めてほしい。
12月23日	無電柱化を進めるにあたっては、費用面のリスクや課題などを明らかにした上で、慎重に進めてほしい。
12月23日	公園の再整備にあたっては、実際にどのように利用されているかを把握するため、利用状況のデータを収集・分析しながら進めてほしい。また、公園の目的や利用のあり方、デザインについても十分に考慮した整備を行ってほしい。
12月23日	南台公園の再整備が行われているが、工事期間中、子どもたちの遊ぶ場所が減っている。
12月23日	区全体の交通アクセスを向上してほしい。
12月23日	中野駅前で送迎の車など、一時停止が目立っている。 中野駅周辺の再開発にあたっては、一時停止ができる専用のスペースを設けるなど、対策を講じてほしい。
12月23日	関東バスと京王バスの時刻を同時に調べられず不便に感じている。
12月23日	歩道を自転車が走行することで危険を感じる場面があるため、自転車と歩行者の双方が安全に通行できるよう、適切な走行空間の整備を進めてほしい。
12月23日	区内の公共交通による南北間の移動が不便であるため、ネットワークの構築を検討してほしい。

12月23日	中野駅西口改札の開設により自転車利用者の増加が見込まれるのであれば、土地を無償で提供するのではなく、民間企業に貸し出すことで収入を得てはどうか。25年間にわたる無償貸与に加え、建設費として1億円以上投じることを踏まえると、適切な運用ではない。
12月23日	(仮称)環境行動ポイントの導入にあたっては、ナカペイを使用したコミュニティポイントの付与では、受け取れる人が限られてしまうため、他の方法を検討してほしい。
12月23日	リチウムイオン電池を集積所で回収してもらえることを知らなかったため、広報に力をいれてほしい。スーパーや通勤に便利な場所など人の集まる場所に回収ボックスを設置してはどうか。
12月23日	防犯機器の購入に対する補助にとどまらず、犯罪そのものを未然に防ぐための環境を整備してほしい。また、防犯機器の補助とは具体的にどのようなことをするのか。
12月23日	中野区防犯機器等購入緊急補助事業にあたり、申請方法や補助額、対象となる品目など、利用しやすい制度となるよう、内容の見直しを検討してほしい。
12月23日	eLTAXの利用方法が分かりづらいので、分かりやすく方法を周知してほしい。
12月23日	防災リーダーのように、区政と区民のパイプ役になる人をもっと増やしてほしい。区民が区政を実感できるような形で進めてほしい。
12月23日	傷病手当金を廃止するのであれば、それに代わる支援策を充実させてほしい。
12月23日	公共サインの多言語化を行ってほしい。

12月23日	区政情報やイベント情報の広報にあたっては、紙媒体での発信は行いつつ、ためまっぷの活用など、適度にデジタル化を行ってほしい。
12月23日	自転車用ヘルメット購入補助を区内の事業協力店以外でも購入できるようにしてほしい。
12月23日	マンションの管理組合に属しているが、耐震化や防災リーダーに関する情報などは、管理組合側から探さなければ得ることができない。 区から積極的に情報を伝えてほしい。